

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト初代培養細胞を用いた細胞の不死化、がん化機構の解明研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
倫理委員会承認日より 2028 年 3 月末までに骨軟部肉腫の診断または治療のために腫瘍組織を切除する方	
③概要	
肉腫の患者さんの生存率は抗がん剤の導入により改善しましたが、この 20-30 年程度は横ばいとなっています。新しい治療を考えていくためにはがんを引き起こすメカニズムなどを理解することが重要ですが、肉腫の分野では分かっていないことが多くあります。がん化するメカニズムを調べたり、新しい治療法を開発したりするためには実験環境で育つ「培養細胞」が重要な役割を果たしてきました。しかし、肉腫は発生頻度が少なく、実験に使える培養細胞(細胞株)も少ないため、これらの研究が滞りがちになっています。 このため、今回我々は新しい肉腫細胞株を樹立し、これを用いた肉腫のがん化するメカニズムの解析と新しい治療法の解明のために本研究を計画しました。	
④申請番号	2018-0355
⑤研究の目的・意義	肉腫細胞株を樹立し、得られた肉腫細胞株を用い肉腫におけるがん化や転移を起こす原因を解明し、治療法を開発を行います。
⑥研究期間	倫理委員会承認日より 2028 年 3 月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診断や治療のために切除された腫瘍細胞のうち病理診断などの診療に不必要な部の一部から細胞を分離し培養します。長期培養(細胞株化)が成功したものに対して、カルテに保存されている臨床情報(年齢、性別、診断、治療内容、転帰)を利用します。使用するデータは個人が特定できぬように匿名化し研究に利用します。研究の結果は学会や論文などにより発表することがありますが、名前などの個人が特定できる情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	臨床情報(年齢、性別、診断名、治療内容、転帰)
⑨利用の範囲	新潟大学整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学整形外科 教授 川島寛之
⑪お問い合わせ先	新潟大学整形外科 医局 川島寛之、大池直樹 Tel:025-227-2272 E-mail: inskawa@med.niigata-u.ac.jp